

すい 地域推しんばん No.10

発行・編集／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉係

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号（BIG FRONT ひろしま6階 広島市総合福祉センター内）

TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413 E-mail：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp

令和7年3月発行



広島市社会福祉協議会は

あなたの **チャレンジを応援** します！



令和7年度ひろしまの
地域福祉推進“チャレ
ンジ応援”助成事業の
申請団体**募集中**！！

「ひろしまの地域福祉推進“チャレンジ応援”助成事業」は、平成29年度から、広島市域の地域福祉向上を願って先駆的・開発的なチャレンジを行っている団体に資金面のみでなく、総合的に応援することを通して、活動の継続と他団体の波及を目的に実施しています。

今号では、本助成事業を活用されている2団体の紹介と、令和7年度の申請について掲載します。

団体名

ぽぽぽこぼこトレイン

活動目的

付き添い入院をする家族の応援

どういった想いで活動を立ち上げられましたか？

私自身が過去に付き添い入院の過酷さを体験したことから、病気や障害・特性のある子の子育てや付き添い入院の過酷さを多くの人に知っていただき、助け合える社会になるような広報や支援を行いたいという想い、活動を開始しました。

活動内容

家族へのサポート品の提供

主にどういった活動ですか？

付き添い入院をされているご家族へおむつや日用品、手軽に食べられる食品を提供したり、不安や孤独に悩む親や家で待っているきょうだい児への心の支援を行っています。

これまでで、主に市内の6つの病院に、延べ194件(令和7年1月末現在)の物品提供を行いました。



代表の^{きくた} 鋤田さん

▶月一回のオープンスペースの様子。こ催している▼



活用内容

サポート品の購入費として活用

助成金の使い道はどういったものでしょうか？

団体を立ち上げたタイミングや条件面で応募できる助成金が少なく困っていたところ、たまたまこの事業を知り応募しました。申請等も相談しながら行え、助成が決定したことで、サポート品を購入することができました。
助成2年目の今年は活動周知のため、絵本作成に取り組んでおり、その費用として活用しています。



がんばるママたちへ。
あなたはそのまま、素敵だよ。
ひとりひとりが特別な存在。
たれでも、自分だけの花がある。
そんなメッセージを込めて絵本を作りました。
ぽぽぽこトレイン

詳細は団体のホームページをご覧ください▼



その他

企業とのつながり

資金面以外の支援で良かったと思うことがありますか？

活動する中で、実際に入院のサポートが必要になる前から活動を知っておいてほしいと思うようになりました。社会福祉協議会へ相談したところ、出産のお祝い等で立ち寄る「進物の大進」様へつないでいただき、市内の店舗にチラシの設置等をしていただきました。



団体名

暮らしの保健室 亀山

活動的
制度的狭間の困りごとへの対応

どういった想いで活動を立ち上げられましたか？

福祉の専門職として仕事をすることで、制度の充実だけでは解決できない課題が多くあり、顔馴染みになることで少しずつそうしたことを相談される方が多いことを実感し、同じ想いを持つ社会福祉士や作業療法士、看護師や言語聴覚士に声をかけて、空き家になっていた実家を拠点に立ち上げました。



▲サロン参加者の中には、特技を生かして別の曜日に新たな居場所活動を始める人も



困ったこと

地域になかなか認知されない
活動する中で難しかったことは？

地域団体ではないため、当初は活動の周知に苦労しました。また、費用の捻出も苦労していた中で、この助成金を活用し、活動拠点の運営費や広告宣伝費・外部講師謝礼として活用しました。徐々に地元町内会に認知されるようになったと感じています。



▲代表の永久さん
(社会福祉士・准看護師・主任介護支援専門員)

重点
重組

新たな課題が見つかったそうですね？
団地特有の課題に対して

近所の住民等に、活動への参加について話を伺ったところ、「歩いていく体力がない」との声があり、町内会としても住民が外出に苦労していることを懸念されていたため、外出付き添い事業を進めています。同時に活動と一緒にスタッフも募集しています。



▲副代表の広重さん
(作業療法士)

やって
みたい
こと

子ども・高齢者をこちゃませに

社協として支援できる部分がありますか？

亀山南地区の住民が高齢となり、介護サービスを利用するようになって、地域のつながりに加え、私たちの外出付き添い事業なども活用してもらいたいと思います。また、昔は多世代交流の機会が自然にあったのですが今はないと思います。高齢化率の高い地域ゆえに難しさも感じています。そうした部分の調整や支援を社会福祉協議会にお願いできればと思います。



▶初詣の外付付き添いの様子



▲事務局の臼井さん
(作業療法士)

▼詳細は団体のフェイスブックをご覧ください



～令和7年度ひろしまの地域福祉推進“チャレンジ応援”助成事業の申請について～

応募期間：令和7年4月1日（火）～5月2日（金）【必着】

ポイント① 助成の対象となる団体

広島市域の福祉向上を目指して活動する非営利活動団体。
また、次の条件をすべて満たす団体とします。

- (1) 規約・会則等を有すること。
- (2) 団体自らが経理し、監査することができる会計機能を有すること。
- (3) 団体の主たる事務所が広島市内にあり、広島市域を主とした活動であること。
- (4) 団体の構成員を5名以上有し、会員・役員名簿の提出が可能であること。
- (5) 本会との連携が可能であり、円滑なコミュニケーションがとれること。
- (6) 反社会的勢力または反社会的勢力と密接な交友関係を有する団体でない、又はその恐れがないこと。

注意！

ポイント①②を満たしていても、総合的に判断し非該当とみなす場合もあります。また、申請額どおりの決定にならない場合があります。

ポイント② 助成の対象となる取組

市民活動の持ち味である柔軟で多様なアイデアを活かし、これまでにない新たな発想や視点で、福祉課題の解決を目指す取組とします。次のいずれかに該当する取組を対象とします。

- (1) 様々な地域の福祉課題解決に対する取組。
- (2) 制度の狭間の福祉課題解決に対する取組。
- (3) その他、本会会長が市域の福祉力向上に資するため助成を必要と認めた取組。

ポイント③ 助成部門

A部門又はB部門のどちらか一方の応募となります。同一年度に重複して応募することはできません。

A部門：団体の立上げ応援部門

◆新たな発想や視点を持つ団体の立上げ及び初動期の基盤整備を応援する部門です。継続性のある安定した団体運営のための仕組みづくりを本会が大切にしている「つながり」等を活かして応援します。

- (1)対象団体：設立後3年未満の非営利活動団体
- (2)助成額：1団体につき30万円を上限とした必要額
- (3)件数：2～4件程度（総額60万円程度）
- (4)選考方法：書類審査（1次審査）及び面談審査（2次審査）
※前年度も本助成を受けている団体については、今年度の応募内容だけでなく、初年度及び2年度目の成果も加味して審査します。
- (5)その他：
 - ・同一事業での応募は、連続する3会計年度まで可能です。
 - ・本会が本助成事業を廃止した場合は、当該廃止した年度をもって助成を終了します。

B部門：先駆的・開発的取組の応援部門

◆3年以上の継続した活動実績のある非営利活動団体による、先駆的・開発的な新規事業を応援する部門です。これまでとは異なる新しい事業展開を応援します。

※既存事業を維持・拡充することを目的とした応募は、非該当となります。

- (1)対象団体：3年以上の継続した活動実績のある非営利活動団体
- (2)助成額：1団体につき30万円を上限とした必要額
- (3)件数：8件程度（総額240万円程度）
- (4)選考方法：書面審査（1次審査）及び面談審査（2次審査）
- (5)その他：
 - ・過去にA部門で助成を受けている団体も応募可能です。
 - ・同一事業での応募は、連続する3会計年度まで可能です。
 - ・本会が本助成事業を廃止した場合は、当該廃止した年度をもって助成を終了します。

▼申請書類は本会のホームページをご覧ください



<問合せ先>

社会福祉法人広島市社会福祉協議会
地域福祉推進課 地域福祉係

TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

メール：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp